



地域を活かし、地域と関わって

喜多方市立高郷小学校

本校は、喜多方市南西部の高郷地区に位置する学校であり、平成19年4月に3校が統合して開設され、今年度、開校19年目を迎えました。高郷地区は、只見川と阿賀川が合流する場所にあり、県営荻野漕艇場が設置されるなど、豊かな水と緑に囲まれた魅力あふれる地区です。また、学区内には、たくさんの化石が発掘される地層が見られ、歴史のロマンを感じられる地区でもあります。

令和7年度は、教育目標「夢きらし、明日に輝く 高郷の子」を掲げ、地域との関わりや体験活動を積極的に取り入れた教育活動に取り組んでいます。その一端を紹介いたします。

1 小学校農業科での体験

高郷小学校では、1・2年生が生活科、3年生以上が総合的な学習の時間を活用して、「農業科」の学習を行っています。

4名の農業科支援員の方にご支援・ご協力をいただき、今年度主に育てる作物と児童が育ててみたい作物を育てています。

育てた作物は、11月の収穫感謝祭の材料にもなるため、各学年が責任をもって育てています。

※ 2学期以降の活動は、昨年度の写真を使用しています。



5月 全校生が農業科支援員の方と話し合いをしました。
3・4年生は ニンジンやジャガイモなどの育て方について質問していました。



5月 1・2年生が農業科支援員の方に教えてもらいながら、協力してサツマイモを植えました。



5月 5・6年生は、学校近くの田んぼで田植えをしました。6年生は去年の経験があるので手慣れた様子でした。



9月 5・6年生が田植えをした田んぼで稲刈りを行います。その後、農業科支援員の方に、乾燥・脱穀などをしていただいています。



11月 収穫感謝祭では、1・2年生のサツマイモはふかしイモに、3・4年生のニンジンとジャガイモ、5・6年生のハクサイとネギは5・6年生が豚汁に仕上げます。5・6年生が育てたお米で、ごはんを炊きました。

2 地域を活かした様々な校外学習

高郷地区には、様々な昔話や言い伝えが残っています。その中には、群馬県や栃木県とのつながりがあるお話もあります。3年生が総合的な学習の時間に、地域に詳しい方をお招きして、「高郷地区の伝説」について調べています。

学校近くの雷神山花の森では、4年生が地域の方から自然について教えていただいたり、6年生が育樹祭で苗木を植えたりしています。また、学校近くに江戸時代から化石が多く発掘される地層があるため、6年生が理科の「大地のつくり」の学習で見学し、探究的な学びとつなげています。



6月 3年生は、伝説がある場所で、地域の方からその内容を教えていただきました。



7月 4年生は、雷神山に行き、植物や高郷地区の昆虫について地域の方から教えていただきました。



10月 6年生が理科の学習で学校近くの地層の見学を行っています。この地層では、たくさんの化石が発見されています。

3 地域の方との関わり

高郷小学校では、地域の方にご協力をいただき、「読み聞かせ」と「昔話を聞く会」を実施しています。令和7年度は、どちらも年間7回ずつ行う予定です。

読み聞かせは学年ごとに実施し、昔話は1～3年生、4～6年生に分かれて実施しています。地域の方が選んでくださったお話に興味深く耳を傾けています。

また、運動会で「高郷音頭」を披露しました。振り付けなどを地域の方に教えていただき、運動会では保護者、地域の方と一緒に踊ることができました。



1年生が集中して地域の方の読み聞かせを聞いています。



1～3年生のこの日のお話は、「ひょっとこ」でした。



高郷音頭の練習です。地域の方に講師を務めていただき、それをお手本によく見て踊っています。



運動会当日は、保護者や地域の方もたくさん参加していただき、みんなの笑顔が見られました。